

組立設置説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。

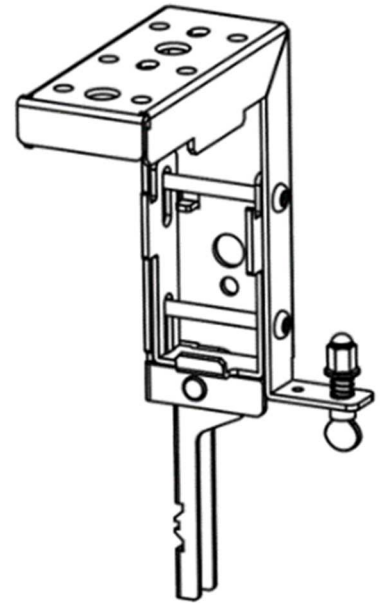
組み立てするにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は設置方法、設置環境に合わせてご用意ください。

施工業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度は、本機の荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。

取付場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施工を行ってください。

●設置後は、この組立設置説明書を使用者（運用責任者）へお渡しください。



S-M5

もくじ

安全上のご注意	2
スライディングブラケット寸法図	3
付属品の確認	3
設置上の留意点	4
設置方法	4
お問合せ先	8

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は大切に保管し、必要なお読みください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



分解禁止

分解や修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。 ●修理は、取扱店または当社までご相談ください。



設置作業は必ず2人以上の作業者で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

注意



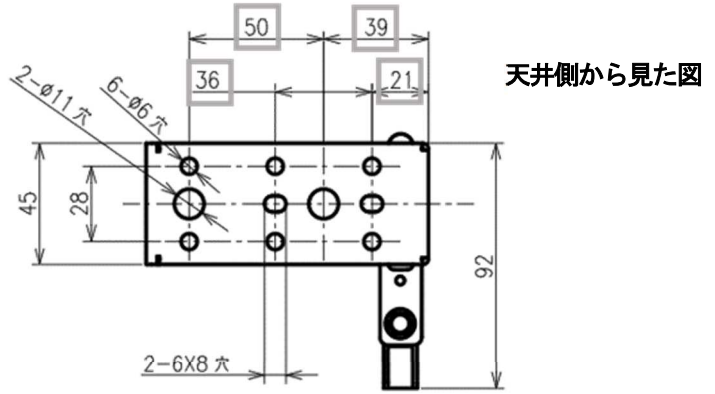
ストーブなどの熱源の近くで使用しない

変形や焼損、火災の原因となる可能性があり大変危険です。

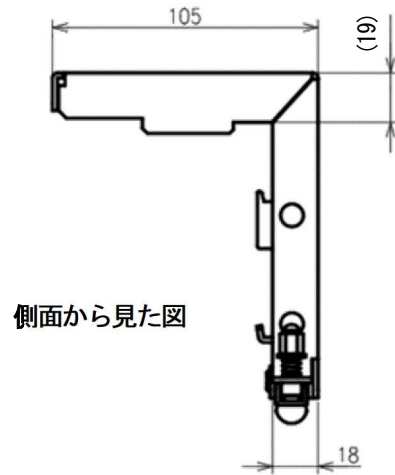
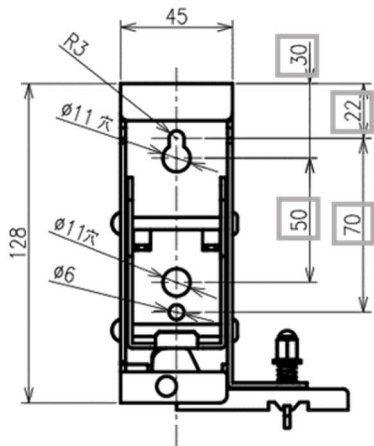
- 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

スライディングブラケット寸法図

・取付用穴位置（口印）

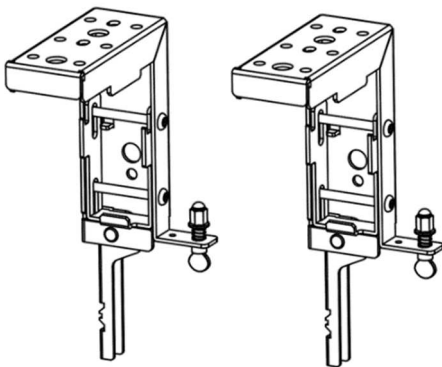


正面から見た図

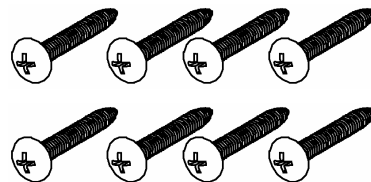


付属品の確認

※ 付属品がそろっているかをご確認ください。



スライディングブラケット × 2 個



十字穴付トラスタッピンねじ 5×25 × 8 本

設置上の留意点

- 電動スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
 - 振動や衝撃の加わるおそれのある所
 - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
 - 暖房機器の風が当たる所
- 取付場所の構造や材質に合った方法で取付工事をおこなってください。
- 取付工事中に製品や床に傷が付かないようにやわらかい毛布や布を使い作業してください。
- ねじ止めする時は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 取付工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
- 製品は水平に取り付けてください。

設置方法

〔はじめに〕

部品は取付箇所、取付方向が決まっていますので、図および説明文をよく確認の上、設置してください。

本説明書(3 ページ)を基にスライディングブラケット取付穴位置を確認してから設置してください。

1. 取り付ける場所の確認

- ・ 本製品は天井のほか、壁面への取り付けも可能です。
- ・ ただし、天井・壁面の両方へ同時固定はしないでください。
- ・ 取付下地に十分強度があることを確認してください。
- ・ 天井取り付けの野縁の位置につきましては、野縁探知機等を利用して下地位置の確認をしてください。壁面への取り付けは取付位置に間柱等があることを確認してください。

※ 下地が発見できないときは、取付専門業者に施工依頼をしてください。

別途ご用意していただくもの

- プラスドライバー #2
- マイナスドライバー
- スパナ 17mm 等
- ラジオペンチ 等



警告

本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。石こうやパーティクルボード面に設置する場合、補強が必要となります。
設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になります。



警告

本機を木下地に設置する場合は、下地の厚みが20mm以上必要です。下地の厚み不足、ねじの締め付けが不十分ですと本機が脱落する原因になります。

2. スライディングブラケットの取り付け



警告

取付部分の下地の仕様、製品および製品積載物の重量により取付方法が異なります。製品を取付けの際には適正な支持強度が十分保てる方法で施工してください。
支持強度が不足の場合、落下する恐れがあります。

■ 取付け穴の説明(天井・壁面への設置例)

最初にスクリーン本体取付位置を決め、それに合わせてスライディングブラケットを設置面に取付けます。
アンカーボルトも同様に位置決めして設置面に打ちこみます。
(3 ページの取付穴ピッチ、スライディングブラケット寸法図を参照)

コンクリート壁などに設置する場合は、壁面にアンカーボルトを打ち、ナットで固定します。

必ず投影面の高さや投影面までの距離、中心位置を確認してください。

スクリーンが水平となるようスライディングブラケットの取付け位置は正確に測定し、マーキングを行ってから施工してください。

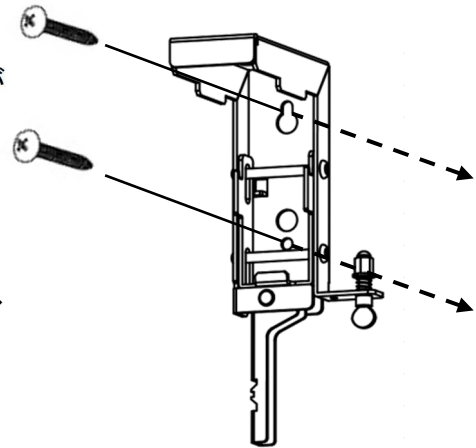
壁取付けの場合

●直接、壁に取付ける場合…φ6 穴を使用

付属ねじ(十字穴付きトラスタッピン 5×25)にて野縁等支持強度が確保できる所に取付ける。

左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取付けてください。

※平行に取付け出来ていないとカムレバーの操作が重くなったり、スクリーン面にシワが入ったりします。



●アンカーボルトを使用して、壁に取付ける場合…φ11 穴を使用

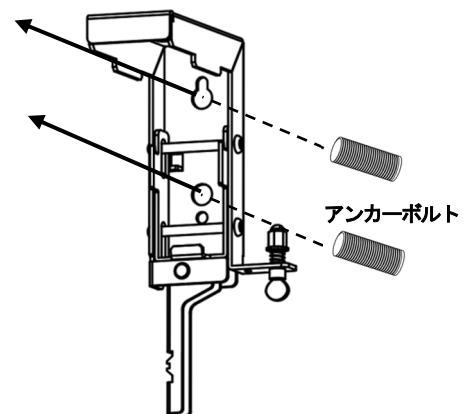
スクリーン本体取付け位置に合わせて、アンカーボルト(M10)を壁に取付ける。

(3 ページのスライディングブラケット寸法図を参照)

左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取付けてください。

※平行に取付け出来ていないとカムレバーの操作が重くなったり、スクリーン面にシワが入ったりします。

※スライディングブラケット固定に必要なアンカーボルト、ナット等はこちらでご準備ください。



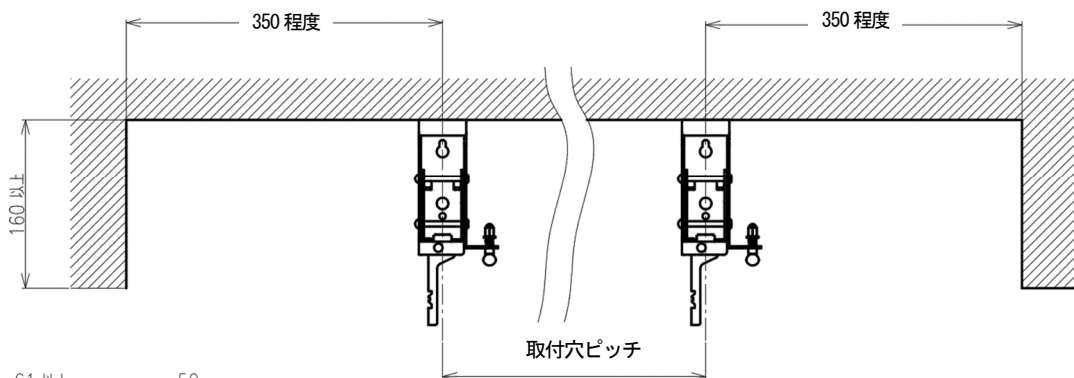
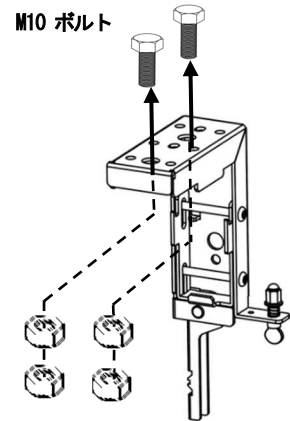
天井取付けの場合

- 弊社アルミボックスや吊ボルトを使用する場合…φ11穴を使用
ダブルナットでしっかりと吊ボルトに固定する。

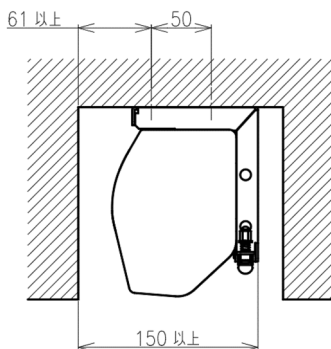
左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取付けてください。

※平行に取付け出来ていないとカムレバーの操作が重くなったり、スクリーン面にシワが入ったりします。

- 天井に設けた凹部に取付ける場合…φ6穴を使用
天井に設ける凸部は、下図の寸法を参考に作成してください。



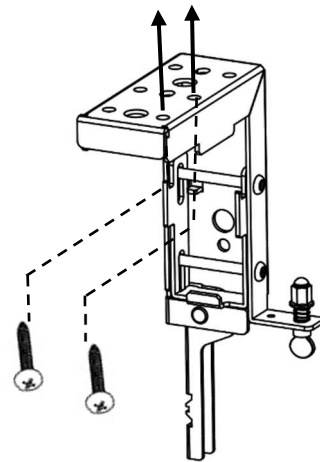
※ 取付穴ピッチは、スクリーン図面を参照



付属ねじ(十字穴付きトラスタッピン 5×25)にて野縁等支持強度が確保できる所に取付ける。

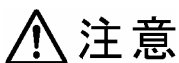
左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取付けてください。

※平行に取付け出来ていないとカムレバーの操作が重くなったり、スクリーン面にシワが入ったりします。



■ 弊社アルミボックス対応表

スクリーンサイズ	スクリーン質量	対応アルミボックス
SEG-080H、W、F	約 15.2kg	AL-220X、AL-220EX
SEG-100H、W、F	約 18.5kg	AL-260X、AL-260EX
SEG-120H、W、F	約 21.3kg	AL-320X、AL-320EX
SEG-150H、W、F	約 26.1kg	AL-400X、AL-400EX

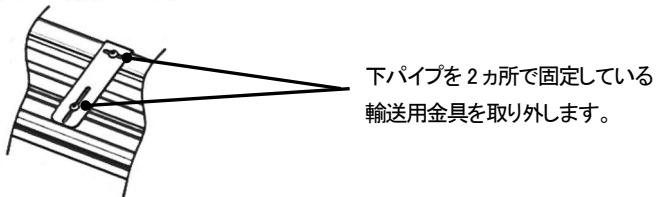


注意

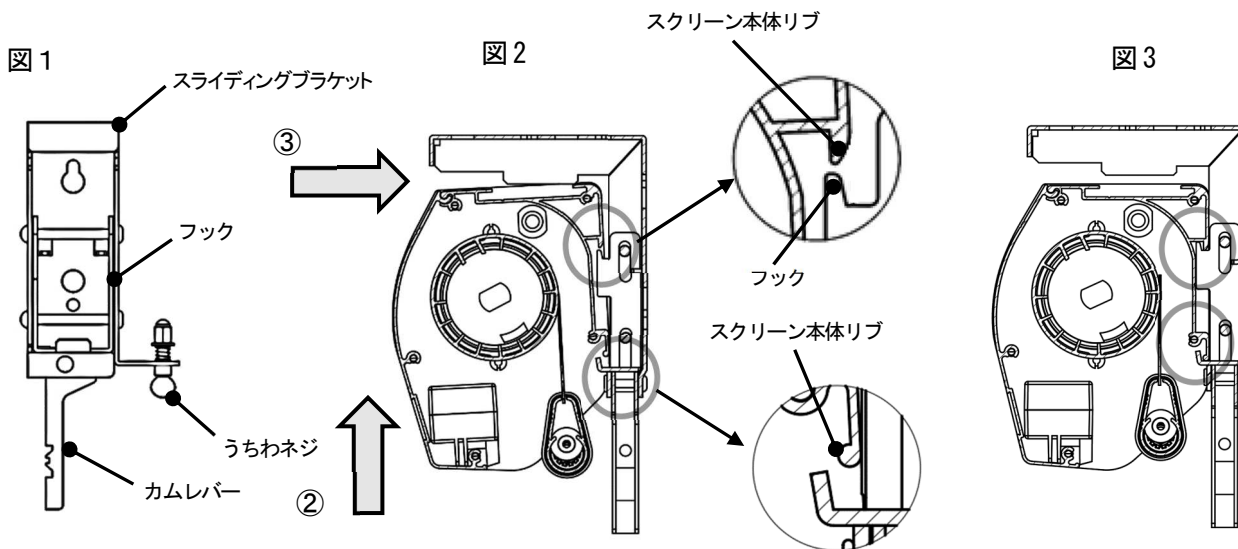
アルミボックス(AL-X)にスクリーン本体を収納した場合、
カバー(目隠しパネル)は装着できません。
アルミボックスの下端からスクリーン本体の一部が突出します。

3. スクリーン本体をスライディングブラケットに取付ける

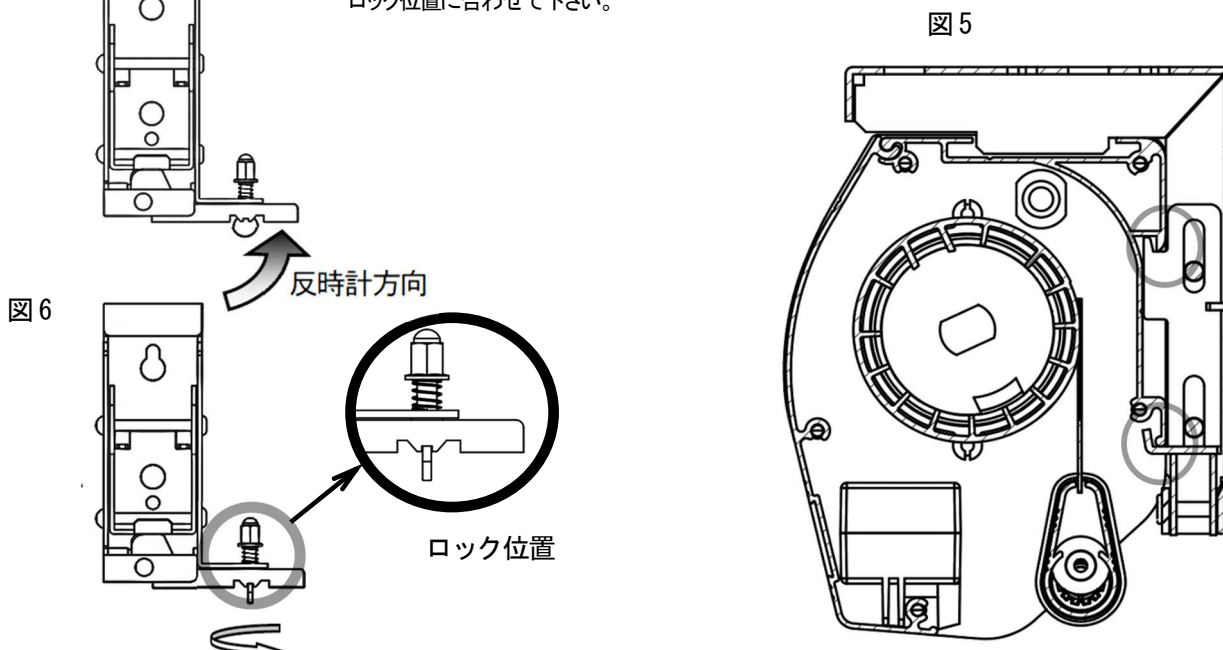
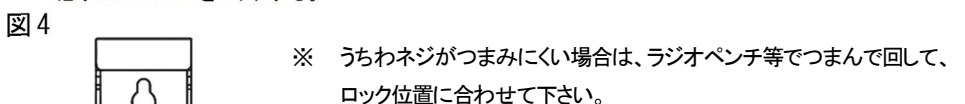
作業が終了するまで電源ケーブルをコンセントに差し込まないこと
 作業は必ず 2 名以上の作業員で行うこと



- ① 図1のように、うちわネジを図示の位置に回し、カムレバーを下に垂らす。
 この時、フックが下まで落ちきっていること
- ② 図2のようにスクリーン本体を少し斜めにして上に押し上げ、次にスライディングブラケットの方に横に移動させる。
- ③ スクリーン本体を水平にしながら、スクリーン本体リブをフック（上下 2カ所）に図3の丸印のように入れる。



- ④ 図4のように、カムレバーを反時計方向に回転させ、スクリーン本体を上移動させ固定する。
- ⑤ スクリーン本体リブがフック（上下 2カ所）に、図5の丸印箇所のように入っていることを必ず確認する。
- ⑥ 図6のように、うちわネジの取手部を 90 度回転させ、カムレバーの溝部に入れて、必ずカムレバーをロックする。



製造販売元 株式会社 **オーエスエム**

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com